

1. 社会福祉法人緑風会本部

新型コロナウイルス感染症の取扱いが5類になり凡そ2年が経とうとしているが、コロナ禍は医療界を含めて日本全体を、更には世界的に社会・経済の在り方を大きく変化させた。また、国際情勢の激変は物価高騰等として日常生活を激変させた。この経営環境の激変は、医療・介護の在り方、各医療・介護機関の地域で担う機能やあり方を再考せざるを得なくなった。日本自体の社会構造においても、「少子化」「超高齢社会」「人口減少」と日本の人口構成が大きく変化し続け、年金・医療・介護・福祉という社会保障全体の在り方が国家を左右する課題となり、消費税率の引き上げもあり、病院経営、介護施設経営の困難な状況はさらに悪化してきている。福祉・医療・介護の担い手である公益法人（社会福祉法人）の在り方も世論の厳しい批判を背景に大改革が行われ、改革施行後も日々その存在意義を問われ続けている。

医療においては、第一次医療法改正から第五次医療法改正、老人保健法成立から後期高齢者医療制度、健康保険法改正及び診療報酬改定と、厚生労働省は医療提供体制の再編をしてきた。五疾病（がん、心筋梗塞、脳卒中、糖尿病、精神病）・六事業（救急医療、災害医療、僻地医療、小児医療、周産期医療、新興感染症対策）、更に医療機関の機能別分化を、高度急性期医療、急性期医療、回復期リハ、慢性期医療を経て在宅医療まで継続的な医療サービスが効率的に提供されるような体制の整備を急ぎ、更に別な表現の機能分化を企画している。年金・福祉・医療・介護といった社会保障制度全体を持続可能にできる財政的枠組みづくりと、効率的医療体制の実現、医療・介護・地域社会の連携による「地域包括ケアシステム」「地域共生社会」の構築を図っている。それは医療費適正化及び介護費適正化を伴うものである。

緑風会は、激しく変化する経営環境の下で、緑風荘病院の建替え事業から12年経過し建物・設備の維持・更新をしながら、医療構造改革の進捗、病院界再編の状況、福祉・医療・介護政策の動向を分析し、福祉・医療・介護全般に対応しうる「地域の相談役」となりうるように研究・努力を続けている。

緑風荘病院、介護老人保健施設グリーン・ボイス、各在宅事業とも従来から経営環境の厳しさはあったが、病院建築期間中の減収、建築費・解体費用負担、入院機能再編、近隣介護施設開設ラッシュ、各施設の大規模修繕等という困難を乗り越えてきた。この新型コロナウイルス感染症流行と国際関係の激変も乗り越え、緑風荘病院を中心に、医療・介護・在宅機能の総合された緑風会として地域での役割を担うべく、日々の業務に励んでいる。

平成28・29年度の社会福祉法改正により、本来業務の福祉事業以外にも社会公益活動を行うことを求められている。緑風会独自で無料低額診療事業の一環として行ってきた「介護予防事業」「ほっと喫茶」に加えて、東村山市の地域と連携した地域公益活動としての総合相談事業や地域への食事提供事業等に協力・参加し、更に東京都の広域における地域公益活動に向けた活動を続けている。

本来業務である無料低額診療事業、無料低額利用事業については、東京都社会福祉協議会医療部会と全国福祉医療施設協議会を通じて、その業務の充実・発展と広報に努めている。

平成27年度から（改正）社会福祉法人会計に移行し、平成29年度からは会計監査人（監査法人）による監査を受けており、新制度への対応を進行させている。

令和6年度は診療報酬・介護報酬同時改定があり、更に激しい物価高騰も加わり、病院経営及び介護施設経営は厳しいものとなってしまった。医師、看護師、介護職員、調理員など全職種において採用は難しく、今後は厚生労働省の働き方改革なども医療機関・介護施設の運営の仕方に大きく影響してきている。

緑風荘病院は、医師入れ替えの影響と社会全般の受療動向の変化によって、病床稼働と外来受診が低迷し過去に例のない大きな損失額となり、老健グリーン・ボイスの大規模改修工事の影響が重なって、法人としても大きな損失額となった。

社会福祉法人 緑風会				※内部取引消去後	
法人単位事業活動計算書					
		(自) 令和6年4月1日	(至) 令和7年3月31日	(単位：円)	
勘定科目		令和6年度決算(A)	令和5年度決算(B)	差額(A) - (B)	
サービス活動増減の部	収益	介護保険事業収益	894, 583, 171	922, 671, 368	△ 28, 088, 197
		施設介護料収益	618, 721, 134	640, 058, 017	△ 21, 336, 883
		居宅介護料収益	173, 534, 879	175, 544, 804	△ 2, 009, 925
		地域密着型介護料収益	0	0	0
		居宅介護支援介護料収益	45, 977, 522	44, 404, 610	1, 572, 912
		その他の介護収益	56, 349, 636	62, 663, 937	△ 6, 314, 301
		保育事業収益（その他の事業）	2, 123, 190	2, 650, 857	△ 527, 667
		医療事業収益	2, 363, 510, 732	2, 542, 192, 421	△ 178, 681, 689
		入院診療収益	1, 696, 016, 896	1, 760, 197, 932	△ 64, 181, 036
		室料差額収益等	20, 417, 719	17, 836, 581	2, 581, 138
		外来診療収益	613, 348, 871	732, 065, 040	△ 118, 716, 169
		保健予防活動収益	38, 732, 965	32, 316, 196	6, 416, 769
		受託検査・施設利用収益	1, 054, 111	1, 281, 893	△ 227, 782
		保険等査定減	△ 7, 681, 944	△ 3, 448, 725	△ 4, 233, 219
		その他の収益	1, 622, 114	1, 943, 504	△ 321, 390
		其他医業外収益	14, 041, 600	15, 329, 520	△ 1, 287, 920
		サービス活動収益計(1)	3, 274, 258, 693	3, 482, 844, 166	△ 208, 585, 473
	費用	人件費	2, 413, 609, 591	2, 369, 370, 245	44, 239, 346
		事業費	719, 699, 224	724, 511, 226	△ 4, 812, 002
		事務費	159, 841, 418	142, 398, 453	17, 442, 965
		利用者負担軽減額	46, 330, 517	52, 373, 792	△ 6, 043, 275
		減価償却費	196, 615, 934	199, 394, 343	△ 2, 778, 409
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 24, 394, 294	△ 24, 434, 240	39, 946
		徴収不能額	4, 970	25, 656	△ 20, 686
		徴収不能引当金繰入	954, 850	1, 109, 990	△ 155, 140
		サービス活動費用計(2)	3, 512, 662, 210	3, 464, 749, 465	47, 912, 745
	サービス活動増減差額(3) = (1) - (2)		△ 238, 403, 517	18, 094, 701	△ 256, 498, 218
サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益	0	0	0
		受取利息配当金収益	222, 798	11, 084	211, 714
		その他のサービス活動外収益	20, 422, 743	23, 235, 522	△ 2, 812, 779
		サービス活動外収益計(4)	20, 645, 541	23, 246, 606	△ 2, 601, 065
	費用	支払利息	9, 928, 016	10, 399, 571	△ 471, 555
		その他のサービス活動外費用	12, 505, 865	12, 234, 017	271, 848
		サービス活動外費用計(5)	22, 433, 881	22, 633, 588	△ 199, 707
	サービス活動外増減差額(6) = (4) - (5)		△ 1, 788, 340	613, 018	△ 2, 401, 358
経常増減差額(7) = (3) + (6)		△ 240, 191, 857	18, 707, 719	△ 258, 899, 576	
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	13, 298, 754	3, 220, 000	10, 078, 754
		固定資産売却益	100, 000	100, 000	0
		その他の特別収益	346, 668	0	346, 668
		特別収益計(8)	13, 745, 422	3, 320, 000	10, 425, 422
	費用	固定資産売却損・除却損	5, 356, 916	202, 608	5, 154, 308
		国庫補助金等特別積立金積立額	13, 298, 754	3, 220, 000	10, 078, 754
		その他の特別費用	0	0	0
		特別費用計(9)	18, 655, 670	3, 422, 608	15, 233, 062
	特別増減差額(10) = (8) - (9)		△ 4, 910, 248	△ 102, 608	△ 4, 807, 640
当期活動増減差額合計(11) = (7) + (10)		△ 245, 102, 105	18, 605, 111	△ 263, 707, 216	
前期繰越活動増減差額(12)		2, 181, 742, 579	2, 163, 137, 468	18, 605, 111	
当期末繰越活動増減差額(13) = (11) + (12)		1, 936, 640, 474	2, 181, 742, 579	△ 245, 102, 105	
基本金取崩額(14)		0	0	0	
その他の積立金取崩額(15)		0	0	0	
その他の積立金積立額(16)		0	0	0	
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		1, 936, 640, 474	2, 181, 742, 579	△ 245, 102, 105	

緑風会本部拠点				
事業活動計算書（本部）				
（自）令和6年4月1日 （至）令和7年3月31日			（単位：円）	
	勘定科目	令和6年度決算	令和5年度決算	差
サービス活動増減の部	収益	サービス活動収益計(1)	0	0
	費用	人件費	9,834,000	9,907,000
		事業費	138,000	100,000
		事務費	9,117,162	9,010,504
		利用者負担軽減額	0	0
		減価償却費	917,169	1,146,510
		国庫補助金等特別積立金取崩額	0	0
		徴収不能額	0	0
		徴収不能引当金繰入	0	0
		サービス活動費用計(2)	20,006,331	20,164,014
		サービス活動増減差額(3) = (1) - (2)	△ 20,006,331	△ 20,164,014
サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益	0	0
		受取利息配当金収益	189,075	10,425
		その他のサービス活動外収益	492,728	1,293,971
		サービス活動外収益計(4)	681,803	1,304,396
	費用	支払利息	0	0
		その他のサービス活動外費用	113,852	157,583
		サービス活動外費用計(5)	113,852	157,583
		サービス活動外増減差額(6) = (4) - (5)	567,951	1,146,813
		経常増減差額(7) = (3) + (6)	△ 19,438,380	△ 19,017,201
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	0	0
		固定資産売却益	0	0
		拠点区分間繰入金収益	19,542,722	19,017,201
		その他の特別収益	0	0
		特別収益計(8)	19,542,722	19,017,201
	費用	固定資産売却損・除却損	104,342	0
		拠点区分間繰入金費用	0	0
		その他の特別費用	0	0
		特別費用計(9)	104,342	0
		特別増減差額(10) = (8) - (9)	19,438,380	19,017,201
		当期活動増減差額合計(11) = (7) + (10)	0	0
		前期繰越活動増減差額(12)	215,769,683	215,769,683
		当期末繰越活動増減差額(13) = (11) + (12)	215,769,683	215,769,683
		基本金取崩額(14)	0	0
		その他の積立金取崩額(15)	0	0
		その他の積立金積立額(16)	0	0
		次期繰越活動増減差額(17) = (13) + (14) + (15) - (16)	215,769,683	215,769,683

緑風会本部は、監査法人の監査に対応できる体制が整ってきており、期中における監査法人の往査も対応できている。令和2年度にコンピューターソフトの更新をし、データのデジタル化も進めている。

銀行取引のかなりの部分をインターネット上で行うなど業務を合理化できており、システムへのサイバー攻撃を注意しつつ業務の更なる安定化に努める。

2. 緑風荘病院 令和6年度事業報告

1) 緑風荘病院の概要

診療科目： 内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、リウマチ科、内科（人工透析）、
外科、消化器外科、皮膚科、泌尿器科、整形外科、リハビリテーション科、
入院： 許可病床 199 床
内訳）一般病床 51 床 回復期リハ病棟 40 床 医療療養病床 108 床
外来： 患者延数 1 日平均約 200 名 （透析処置ベッド 34 床）

2) 緑風荘病院の経営環境

- ① 診療報酬改定 H18 年 4 月マイナス 3.16%改定
H18 年 10 月居住費・食費の保険外化
入院基本料の再編（7 対 1 創設）と厳格化
看護配置基準・夜勤条件の厳格化
医療療養病床の医療必要度による再編
H26 年 4 月 地域包括ケア病棟入院基本料創設
H26 年 4 月 7 対 1 入院基本料の基準厳格化
H26 年 4 月 7 対 1、10 対 1 除外事項廃止
H28 年 4 月 7 対 1 入院基本料 重症度、医療看護必要度の厳格化
H28 年 4 月 回復期リハビリ入院料 リハビリの効果測定導入
H28 年 4 月 療養病棟入院基本料 医療区分条件・運用基準厳格化
H30 年 4 月 療養病棟入院基本料 看護配置基準厳格化
R 2 年 4 月 医師の働き方改革 病院機能分化の推進
R 4 年 4 月 新型コロナウイルス感染症等にも対応できる医療提供体制の構築
R 6 年 4 月 人材確保・働き方改革等の推進（賃上げに向けた評価の新設）
- ② 健康保険法関係改正 (H14 年 10 月老人 1 割負担)
(H15 年 4 月健保本人 3 割負担)
(H20 年 4 月後期高齢者医療制度施行)
- ③ 介護報酬改定 (H17 年 10 月居住費・食費の保険外化)
(H18 年 4 月マイナス 2.4%改定)
(介護療養型老人保健施設を新設)
(H21 年度、H24 年度、H27 年度と改定は厳しい)
(H30 年度「介護医療院」創設)
- ④ 医療法関係 病床機能報告制度（機能分化の推進）
地域医療構想の策定 → 機能別の病床規制

緑風荘病院は、地方的な一般病院でケア・ミックス医療（一般病床＋療養病床）を中心としている。一般診療から、老健、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所と連携した高齢者医療から介護までできる医療機関として、地域での存在を確立してきた。

緑風荘病院の医療機関としての機能は、①急性期の後方支援病院、②初期救急、③透析入院ができる病院、④在宅医療・介護の支援、⑤リハビリテーション病院として、北多摩地域の急性期と在宅医療の橋渡し役並びにその後の在宅医療・介護を支える医療機関としての役割を確立してきている。

緑風荘病院は地域社会（東村山・小平・東大和）と共に成長し続けてきた。今後もこの地域での福祉・医療・介護全般に関し、何でも相談できる親しみやすい医療機関として地域住民のために尽力していく。

3) 令和 6 年度：各部署での診療機能や組織の状況。

[医 局] :

内 科：常勤医 5 名。発熱外来対応のため週当たり診療枠が前年比 6 枠（半日）増加。
外 科：常勤医 1 名。非常勤医師の協力の下、手術・内視鏡検査・当直体制を維持している。
整形外科：常勤医 2 名。杏林大学の協力の下、診療・手術・当直体制を維持している。
透 析：非常勤医を中心に運営。月～土 2 クール運営を維持している。

[看護部] :

看護師の配置基準、夜間勤務条件など厳しい運営が続いている。 現状、スタッフを安定して確保していく事が課題となっている。

[薬 局] :

「後発医薬品使用体制加算」を算定する等、薬品の見直し・ジェネリック薬品採用・少品種運営に注力し運営している。 ここ数年、製薬メーカーで相次いで発生している行政処分に伴う業務停止や製品の自主回収発生等に伴い、医薬品の供給不足の状態が続いている。

[リハビリ] :

回復期リハビリテーション病棟については、資格職を充実させて稼働しているが、病棟の稼働率自体が低迷しており今後の課題となっている。 早期リハビリから在宅復帰までの流れを充実すべく更に理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の稼働充実を図っていく。 リハビリの効果測定や定額算定についても研究を進めていく。

[透 析] :

一週間を通じて一日 2 クール治療を実施。 透析患者の確保が課題。

(透析患者数)	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3	2025/3
入院	22	23	26	23	30	16
外来	93	82	83	82	68	61
計	115	105	109	105	98	77

[レントゲン] :

診療放射線技師数も安定し、画像診断電子化（PACS）の運用も安定している。
現在の CR システムから、より低線量・高画質の DR システムへの変更を検討している。

[検 査] :

BML による外注で業務は安定しており、超音波検査についても非常勤技師数名で心臓・消化器・甲状腺・乳腺の検査態勢ができ充実している。

[事務部門] :

2020 年に本格運用開始した電子カルテについては、特に問題なく運用されているが、2026 年には現在使用している電子カルテのサポートが終了となるため、そのための準備を進めていく。
電子カルテのセキュリティー対策に関しても情報収集しながら進めている。
接遇向上と診療録管理の充実にも取り組んでいる。

[施設関係] :

A・B 棟も建築後 10 年以上経過し、空調・水回り等のメンテナンスでいろいろな事態に遭遇している。それらを一つ一つ克服して運用管理に専念する。

令和 6 年度診療患者延数（外来）									
							（単位：人）		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計	
内 科	6年度	1,944	1,909	1,979	2,119	1,942	1,835	11,728	
	5年度	2,063	2,322	2,434	2,444	2,709	2,769	14,741	
	前年比	△ 119	△ 413	△ 455	△ 325	△ 767	△ 934	△ 3,013	
健 診	6年度	0	0	169	341	348	296	1,154	
	5年度	1	0	155	313	346	222	1,037	
	前年比	△ 1	0	14	28	2	74	117	
外 科	6年度	797	738	777	833	805	760	4,710	
	5年度	792	746	862	839	812	824	4,875	
	前年比	5	△ 8	△ 85	△ 6	△ 7	△ 64	△ 165	
整形外科	6年度	1,186	1,199	1,132	1,111	1,100	1,020	6,748	
	5年度	1,152	1,217	1,179	1,211	1,227	1,080	7,066	
	前年比	34	△ 18	△ 47	△ 100	△ 127	△ 60	△ 318	
透 析	6年度	886	907	852	912	896	847	5,300	
	5年度	1,008	1,063	1,026	999	1,047	997	6,140	
	前年比	△ 122	△ 156	△ 174	△ 87	△ 151	△ 150	△ 840	
合 計	6年度	4,813	4,753	4,909	5,316	5,091	4,758	29,640	
	5年度	5,016	5,348	5,656	5,806	6,141	5,892	33,859	
	前年比	△ 203	△ 595	△ 747	△ 490	△ 1,050	△ 1,134	△ 4,219	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期計	年間計
内 科	6年度	2,530	2,484	2,601	2,052	1,737	1,974	13,378	25,106
	5年度	2,902	2,773	3,049	2,462	2,315	2,098	15,599	30,340
	前年比	△ 372	△ 289	△ 448	△ 410	△ 578	△ 124	△ 2,221	△ 5,234
健 診	6年度	307	5	10	10	9	6	347	1,501
	5年度	360	4	8	8	2	0	382	1,419
	前年比	△ 53	1	2	2	7	6	△ 35	82
外 科	6年度	859	838	846	761	706	731	4,741	9,451
	5年度	858	820	857	714	730	795	4,774	9,649
	前年比	1	18	△ 11	47	△ 24	△ 64	△ 33	△ 198
整形外科	6年度	1,042	1,129	1,129	991	936	1,006	6,233	12,981
	5年度	1,187	1,126	1,130	1,034	1,042	1,104	6,623	13,689
	前年比	△ 145	3	△ 1	△ 43	△ 106	△ 98	△ 390	△ 708
透 析	6年度	875	826	825	849	749	787	4,911	10,211
	5年度	972	946	950	1,013	870	880	5,631	11,771
	前年比	△ 97	△ 120	△ 125	△ 164	△ 121	△ 93	△ 720	△ 1,560
合 計	6年度	5,613	5,282	5,411	4,663	4,137	4,504	29,610	59,250
	5年度	6,279	5,669	5,994	5,231	4,959	4,877	33,009	66,868
	前年比	△ 666	△ 387	△ 583	△ 568	△ 822	△ 373	△ 3,399	△ 7,618

令和6年度診療患者延数（病棟別入院患者数、退院患者込）																				（単位：人）	
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期計	年間計	
一般病棟	A 3階病棟	地域一般入院料1	内科	6年度	507	639	605	798	736	691	3,976	658	585	648	632	570	566	3,659	7,635		
				5年度	418	524	558	681	630	546	3,357	610	435	528	488	427	484	2,972	6,329		
				前年比	89	115	47	117	106	145	619	48	150	120	144	143	82	687	1,306		
			外科	6年度	210	270	335	237	232	254	1,538	340	268	208	240	288	263	1,607	3,145		
				5年度	343	316	303	276	271	327	1,836	381	287	380	361	284	215	1,908	3,744		
				前年比	-133	-46	32	-39	-39	-73	-298	-41	-19	-172	-121	4	48	-301	-599		
			整形外科	6年度	359	352	364	326	357	331	2,089	308	260	400	497	350	484	2,299	4,388		
				5年度	494	333	285	372	349	253	2,086	365	464	338	226	456	471	2,320	4,406		
				前年比	-135	19	79	-46	8	78	3	-57	-204	62	271	-106	13	-21	-18		
			透析	6年度	76	29	11	18	0	0	134	21	30	29	14	35	6	135	269		
				5年度	17	63	99	32	25	7	243	29	67	85	79	121	97	478	721		
				前年比	59	-34	-88	-14	-25	-7	-109	-8	-37	-56	-65	-86	-91	-343	-452		
			合計	6年度	1,152	1,290	1,315	1,379	1,325	1,276	7,737	1,327	1,143	1,285	1,383	1,243	1,319	7,700	15,437		
				5年度	1,272	1,236	1,245	1,361	1,275	1,133	7,522	1,385	1,253	1,331	1,154	1,288	1,267	7,678	15,200		
				前年比	-120	54	70	18	50	143	215	-58	-110	-46	229	-45	52	22	237		
	C病棟	回復期リハ4	内科	6年度	412	363	319	403	423	340	2,260	349	385	367	432	405	438	2,376	4,636		
				5年度	432	404	426	524	639	524	2,949	492	503	464	432	440	421	2,752	5,701		
				前年比	-20	-41	-107	-121	-216	-184	-689	-143	-118	-97	0	-35	17	-376	-1,065		
			整形外科	6年度	519	516	487	472	423	414	2,831	380	313	520	581	540	456	2,790	5,621		
				5年度	451	480	443	437	367	356	2,534	289	305	440	529	455	546	2,564	5,098		
				前年比	68	36	44	35	56	58	297	91	8	80	52	85	-90	226	523		
			合計	6年度	931	879	806	875	846	754	5,091	729	698	887	1,013	945	894	5,166	10,257		
				5年度	883	884	869	961	1,006	880	5,483	781	808	904	961	895	967	5,316	10,799		
				前年比	48	-5	-63	-86	-160	-126	-392	-52	-110	-17	52	50	-73	-150	-542		
療養病棟	A 4階病棟	療養病棟入院基本料1	内科	6年度	724	698	794	827	844	842	4,729	963	894	966	1,062	965	1,008	5,858	10,587		
				5年度	935	970	1,057	1,096	1,108	1,053	6,219	1,015	1,003	1,048	942	721	765	5,494	11,713		
				前年比	-211	-272	-263	-269	-264	-211	-1,490	-52	-109	-82	120	244	243	364	-1,126		
			外科	6年度	226	232	213	263	249	197	1,380	208	172	186	149	112	101	928	2,308		
				5年度	92	124	128	111	124	120	699	131	146	127	155	235	248	1,042	1,741		
				前年比	134	108	85	152	125	77	681	77	26	59	-6	-123	-147	-114	567		
			整形外科	6年度	92	69	60	62	62	60	405	62	60	62	62	56	62	364	769		
				5年度	61	61	51	31	31	30	265	45	30	31	43	59	93	301	566		
				前年比	31	8	9	31	31	30	140	17	30	31	19	-3	-31	63	203		
			透析	6年度	419	370	334	358	356	309	2,146	300	285	279	268	272	247	1,651	3,797		
				5年度	328	319	292	368	369	335	2,011	313	334	356	351	401	434	2,189	4,200		
				前年比	91	51	42	-10	-13	-26	135	-13	-49	-77	-83	-129	-187	-538	-403		
			合計	6年度	1,461	1,369	1,401	1,510	1,511	1,408	8,660	1,533	1,411	1,493	1,541	1,405	1,418	8,801	17,461		
				5年度	1,416	1,474	1,528	1,606	1,632	1,538	9,194	1,504	1,513	1,562	1,491	1,416	1,540	9,026	18,220		
				前年比	45	-105	-127	-96	-121	-130	-534	29	-102	-69	50	-11	-122	-225	-759		
	内科	6年度	823	880	976	1,046	1,030	1,080	5,835	1,064	965	1,003	928	822	917	5,699	11,534				
		5年度	951	945	967	1,010	1,035	932	5,840	1,002	956	998	929	850	888	5,623	11,463				
		前年比	-128	-65	9	36	-5	148	-5	62	9	5	-1	-28	29	76	71				
外科	6年度	90	66	43	93	106	90	488	93	90	97	114	111	128	633	1,121					
	5年度	136	143	90	124	126	120	739	125	142	185	165	116	93	826	1,565					
	前年比	-46	-77	-47	-31	-20	-30	-251	-32	-52	-88	-51	-5	35	-193	-444					
整形外科	6年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	14	14					
	5年度	90	94	79	117	100	90	570	60	30	31	19	0	0	140	710					
	前年比	-90	-94	-79	-117	-100	-90	-570	-60	-30	-31	-5	0	0	-126	-696					
透析	6年度	370	409	366	338	348	354	2,185	342	322	351	402	325	331	2,073	4,258					
	5年度	302	300	262	279	287	306	1,736	368	333	323	341	368	409	2,142	3,878					
	前年比	68	109	104	59	61	48	449	-26	-11	28	61	-43	-78	-69	380					
合計	6年度	1,283	1,355	1,385	1,477	1,484	1,524	8,508	1,499	1,377	1,451	1,458	1,258	1,376	8,419	16,927					
	5年度	1,479	1,482	1,398	1,530	1,548	1,448	8,885	1,555	1,461	1,537	1,454	1,334	1,390	8,731	17,616					
	前年比	-196	-127	-13	-53	-64	76	-377	-56	-84	-86	4	-76	-14	-312	-689					
全体合計					6年度	4,827	4,893	4,907	5,241	5,166	4,962	29,996	5,088	4,629	5,116	5,395	4,851	5,007	30,086	60,082	
					5年度	5,050	5,076	5,040	5,458	5,461	4,999	31,084	5,225	5,035	5,334	5,060	4,933	5,164	30,751	61,835	
					前年比	-223	-183	-133	-217	-295	-37	-1,088	-137	-406	-218	335	-82	-157	-665	-1,753	
																			内科:	-814	
																			外科:	-476	
																			整形:	12	
																			透析:	-475	

緑風荘病院 経理区分					
事業活動計算書（緑風荘病院 経理区分）					
（自） 令和6年4月1日 （至） 令和7年3月31日			（単位：円）		
勘定科目			令和6年度決算	令和5年度決算	差
サービス活動増減の部	収益	保育事業収益（その他の事業）	0	0	0
		医療事業収益	2,362,787,474	2,541,234,568	△ 178,447,094
		入院診療収益	1,696,016,896	1,760,197,932	△ 64,181,036
		室料差額収益等	20,417,719	17,836,581	2,581,138
		外来診療収益	613,348,871	732,065,040	△ 118,716,169
		保健予防活動収益	38,009,707	31,358,343	6,651,364
		受託検査・施設利用収益	1,054,111	1,281,893	△ 227,782
		保険等査定減	△ 7,681,944	△ 3,448,725	△ 4,233,219
		その他の収益	1,622,114	1,943,504	△ 321,390
		其他医業外収益	14,041,600	15,329,520	△ 1,287,920
	サービス活動収益計(1)		2,376,829,074	2,556,564,088	△ 179,735,014
	費用	人件費	1,670,407,802	1,650,971,808	19,435,994
		事業費	594,075,833	605,397,104	△ 11,321,271
		事務費	122,522,594	106,468,795	16,053,799
		利用者負担軽減額	3,763,742	2,824,962	938,780
		減価償却費	138,452,802	141,785,397	△ 3,332,595
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 8,244,588	△ 8,190,000	△ 54,588
		徴収不能額	4,970	25,656	△ 20,686
		徴収不能引当金繰入	954,850	1,109,990	△ 155,140
サービス活動費用計(2)		2,521,938,005	2,500,393,712	21,544,293	
サービス活動増減差額(3)＝(1)－(2)		△ 145,108,931	56,170,376	△ 201,279,307	
サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益	0	0	0
		受取利息配当金収益	14,013	282	13,731
		その他のサービス活動外収益	15,600,972	18,265,442	△ 2,664,470
		サービス活動外収益計(4)	15,614,985	18,265,724	△ 2,650,739
	費用	支払利息	9,928,016	10,399,571	△ 471,555
		その他のサービス活動外費用	8,783,761	8,933,223	△ 149,462
		サービス活動外費用計(5)	18,711,777	19,332,794	△ 621,017
		サービス活動外増減差額(6)＝(4)－(5)	△ 3,096,792	△ 1,067,070	△ 2,029,722
経常増減差額(7)＝(3)＋(6)		△ 148,205,723	55,103,306	△ 203,309,029	
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	9,777,000	0	9,777,000
		固定資産売却益	0	0	0
		拠点区分間繰入金収益	0	0	0
		その他の特別収益	1	0	1
	特別収益計(8)		9,777,001	0	9,777,001
	費用	固定資産売却損・除却損	5,023,455	202,604	4,820,851
		国庫補助金等特別積立金取崩額	9,777,000		9,777,000
		拠点区分間繰入金費用	31,061,935	32,739,841	△ 1,677,906
		その他の特別費用	0	0	0
	特別費用計(9)		45,862,390	32,942,445	12,919,945
特別増減差額(10)＝(8)－(9)		△ 36,085,389	△ 32,942,445	△ 3,142,944	
当期活動増減差額合計(11)＝(7)＋(10)			△ 184,291,112	22,160,861	△ 206,451,973
前期繰越活動増減差額(12)			1,101,762,476	1,079,601,615	22,160,861
当期末繰越活動増減差額(13)＝(11)＋(12)			917,471,364	1,101,762,476	△ 184,291,112
基本金取崩額(14)			0	0	0
その他の積立金取崩額(15)			0	0	0
その他の積立金積立額(16)			0	0	0
次期繰越活動増減差額(17)＝(13)＋(14)＋(15)－(16)			917,471,364	1,101,762,476	△ 184,291,112

緑風荘保育所サービス区分						
事業活動計算書（緑風荘保育所サービス区分）						
（自） 令和6年4月1日 （至） 令和7年3月31日				（単位：円）		
勘定科目				令和6年度決算	令和5年度決算	差
サービス活動増減の部	収益	保育事業収益（その他の事業）		2,123,190	2,650,857	△ 527,667
		サービス活動収益計(1)		2,123,190	2,650,857	△ 527,667
	費用	人件費		16,071,382	17,399,940	△ 1,328,558
		事業費		25,338	86,425	△ 61,087
		事務費		1,524,485	2,533,407	△ 1,008,922
		利用者負担軽減額		0	0	0
		減価償却費		1,366,837	1,366,837	0
		国庫補助金等特別積立金取崩額		0	0	0
		徴収不能額		0	0	0
		徴収不能引当金繰入		0	0	0
サービス活動費用計(2)		18,988,042	21,386,609	△ 2,398,567		
サービス活動増減差額(3) = (1) - (2)		△ 16,864,852	△ 18,735,752	1,870,900		
サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益		0	0	0
		受取利息配当金収益		0	0	0
		その他のサービス活動外収益		0	0	0
		サービス活動外収益計(4)		0	0	0
	費用	支払利息		0	0	0
		その他のサービス活動外費用		662	5,525	△ 4,863
		サービス活動外費用計(5)		662	5,525	△ 4,863
サービス活動外増減差額(6) = (4) - (5)		△ 662	△ 5,525	4,863		
経常増減差額(7) = (3) + (6)		△ 16,865,514	△ 18,741,277	1,875,763		
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益		0	0	0
		固定資産売却益		0	0	0
		拠点区分間繰入金収益		16,865,514	18,741,277	△ 1,875,763
		その他の特別収益		0	0	0
		特別収益計(8)		16,865,514	18,741,277	△ 1,875,763
	費用	固定資産売却損・除却損		0	0	0
		拠点区分間繰入金費用		0	0	0
		その他の特別費用		0	0	0
		特別費用計(9)		0	0	0
		特別増減差額(10) = (8) - (9)		16,865,514	18,741,277	△ 1,875,763
当期活動増減差額合計(11) = (7) + (10)				0	0	0
前期繰越活動増減差額(12)				△ 3,372,612	△ 3,372,612	0
当期末繰越活動増減差額(13) = (11) + (12)				△ 3,372,612	△ 3,372,612	0
基本金取崩額(14)				0	0	0
その他の積立金取崩額(15)				0	0	0
その他の積立金積立額(16)				0	0	0
次期繰越活動増減差額(17) = (13) + (14) + (15) - (16)				△ 3,372,612	△ 3,372,612	0

令和6年度は、外来患者数が前年比11.4%減少、入院患者数が前年比2.8%減少した事に伴い、サービス活動収益の合計が約2,377百万円（前年度比約180百万円減）となった。またサービス活動費用は、合計で約2,522百万円（前年度比約22百万円増）となったため、サービス活動増減差額については△145百万円（前年度比約201百万円減）となった。

東京都福祉局より、令和5年度の減免実績に対し、令和7年3月に無料低額診療事業について適合施設としての証明書の発行を受けた。

3. 介護老人保健施設グリーン・ボイス 令和6年度事業報告

(1) 収益

入所・短期入所 1日平均利用者数

年 度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
R6年度	入所	110.1	109.0	108.0	109.5	106.0	104.6	108.7	105.9	98.0	84.1	76.9	75.2	99.7
	短期入所	2.7	2.4	3.4	2.4	3.0	1.9	2.5	2.3	1.5	2.0	1.7	1.4	2.3
	計	112.8	111.5	111.4	111.8	109.0	106.5	111.2	108.1	99.5	86.1	78.6	76.6	101.9
R5年度	入所	106.6	106.5	108.0	108.2	106.6	108.0	107.3	107.4	108.6	111.0	108.7	106.2	107.7
	短期入所	1.6	2.5	2.2	3.0	1.4	2.0	2.8	3.9	2.6	2.0	1.7	2.1	2.3
	計	108.2	109.0	110.3	111.2	107.9	110.0	110.0	111.3	111.3	113.0	110.3	108.2	110.1
差		4.6	2.5	1.2	0.6	1.0	-3.5	1.2	-3.2	-11.7	-26.9	-31.7	-31.6	-8.1

稼働率推移

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
1日平均	110.9	106.4	110.1	108.5	110.1	101.9
稼働率	94.0%	90.2%	93.3%	92.0%	93.3%	86.4%

令和6年度 ベッド稼働に影響する出来事

- 4月下旬～5月中旬：新型コロナウイルス（入所フロア）
- 8月下旬～10月上旬：新型コロナウイルス（入所各フロア～デイケア）
- 1月～3月：改修工事のため、フロア半分のエリアを閉鎖

入所1日平均稼働率は101.9人（前年度比▲8.1人）となり、稼働率は86.4%であった。新型コロナウイルスの感染症は、夏には全ての部署で陽性者が発生する状況になり稼働が低迷した。また、11月から内装改修工事がはじまり、1～3月は療養棟の1フロアの半分（最大22床）を閉鎖しながら工事を進めた。

単価は、入所 15,841 円（前年度比+855 円）、短期入所 18,550 円（前年度比+772 円）と増加した。令和6年度介護報酬改定の影響と施設の平均介護度が前年度 2.78 から 3.03 に上昇したことが影響したと考えられる。

通所リハビリテーション（デイケア）

年 度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
R6年度	36.3	36.6	35.1	32.7	34.0	31.0	33.7	33.7	34.2	33.7	33.5	35.0	34.1
R5年度	34.6	35.6	36.9	36.6	36.7	37.8	38.6	36.8	33.3	35.8	34.0	33.2	35.8
差	1.7	1.0	-1.8	-3.9	-2.7	-6.9	-4.9	-3.2	0.8	-2.1	-0.5	1.9	-1.7

通所利用実績推移

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
1日平均	36.6	34.9	38.4	34.6	35.8	34.1

通所の1日平均利用実績は、34.1人（昨年度比▲1.7人）であった。令和6年度報酬改定の影響もあり、単価が 12,233 円（昨年度比+318 円）と増加した。

訪問リハビリテーション

年 度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R6年度	実人数(予)	12	14	7	15	9	18	22	22	23	22	20	21	205
	実人数	34	34	32	30	30	31	33	33	35	36	35	34	397
	合計	46	48	39	45	39	49	55	55	58	58	55	55	602
	延人数(予)	69	82	79	74	76	89	95	101	112	110	99	104	1,090
	延人数	196	207	175	184	164	177	200	190	196	210	195	194	2,288
	合計	265	289	254	258	240	266	295	291	308	320	294	298	3,378
	回数(予)	427	518	375	326	336	391	427	431	485	474	418	437	5,045
	回数	1,208	1,285	1,269	1,351	1,192	1,289	1,450	1,379	1,427	1,552	1,420	1,393	16,215
	合計	1,635	1,803	1,644	1,677	1,528	1,680	1,877	1,810	1,912	2,026	1,838	1,830	21,260
	金額(予)	529,648	724,304	629,172	534,431	550,892	642,404	718,536	720,377	798,181	781,633	688,994	717,674	8,036,246
	金額	1,563,869	1,707,691	1,496,276	1,487,746	1,421,963	1,407,061	1,697,228	1,620,626	1,639,242	1,793,538	1,633,426	1,673,907	19,142,573
	合計	2,093,517	2,431,995	2,125,448	2,022,177	1,972,855	2,049,465	2,415,764	2,341,003	2,437,423	2,575,171	2,322,420	2,391,581	27,178,819
R5年度	実人数(予)	12	10	11	11	12	12	14	15	16	14	13	12	152
	実人数	28	33	37	34	34	36	38	39	38	34	30	34	415
	合計	40	43	48	45	46	48	52	54	54	48	43	46	567
	延人数(予)	51	46	46	50	55	27	74	71	80	69	41	78	688
	延人数	139	185	202	194	195	209	229	227	221	206	100	183	2,290
	合計	190	231	248	244	250	236	303	298	301	275	141	261	2,978
	回数(予)	262	231	244	288	311	293	424	405	450	407	444	452	4,211
	回数	867	1,165	1,264	1,211	1,209	1,302	1,427	1,413	1,374	1,273	1,030	1,134	14,669
	合計	1,129	1,396	1,508	1,499	1,520	1,595	1,851	1,818	1,824	1,680	1,474	1,586	18,880
	金額(予)	410,657	329,897	332,388	361,704	405,555	380,735	527,047	523,254	618,004	446,342	588,136	600,505	5,524,224
	金額	1,186,011	1,510,067	1,720,446	1,640,403	1,619,274	1,716,179	1,826,883	1,851,759	1,710,601	1,859,835	1,279,245	1,625,359	19,546,062
	合計	1,596,668	1,839,964	2,052,834	2,002,107	2,024,829	2,096,914	2,353,930	2,375,013	2,328,605	2,306,177	1,867,381	2,225,864	25,070,286
差	496,849	592,031	72,614	20,070	-51,974	-47,449	61,834	-34,010	108,818	268,994	455,039	165,717	2,108,533	

地域のニーズにより令和元年度から強化した訪問リハビリテーションは、令和4年度からリハビリ職4名体制で運営している。利用者実人数は602人（前年度比+35人）と増加したが、単価は8,020円（昨年度比▲133円）と減少した。令和6年度より予防事業の事業所評価加算（120単位）が廃止となったことが大きな要因と考えられる。

グリーン・ボイス全体のサービス活動収益は、812,197,449円（昨年度比▲30,279,633円）となり、内19,046,487円は補助金事業収益である。補助金は、新型コロナウイルス関連の事業がなくなり前年度比▲6,678,921円となったが、東京都次世代介護機器導入促進支援事業10,554,000円や東京都介護職員・介護支援専門員居住支援特別手当補助金7,578,000円等が交付された。

（2）費用

人件費は、前年度比+23,455,547円と増加した。収益が大幅に減少したため、人件費率は78.8%（前年度比+5.5%pt.）まで上昇した。職種別では、介護職が昨年度比▲1.8人であるが、給与は+10,952,129円となっている（人員換算数には派遣職員数は含まれているが、給与には含まれていない）。これには、東京都介護職員・介護支援専門員居住支援特別手当も含まれている。事務員の増員・リハビリ職員の育休復帰等があり、各職種、人件費が増加している。

人件費率の推移

平成30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
79.1%	76.5%	76.5%	73.2%	75.7%	73.3%	78.8%

令和6年度 人員配置（主な職種）

職種	令和6	令和5	増減
施設長	1.0	1.0	0.0
医師	1.1	1.0	0.1
看護職	14.4	14.5	▲ 0.1
介護職	43.7	45.5	▲ 1.8
管理栄養士	4.8	4.8	0.0
リハビリ技師等	15.0	13.6	1.4
ケアマネ・相談員	5.5	5.3	0.2
事務員	4.2	4.2	0.0
ドライバー	2.8	3.4	▲ 0.6
合計	92.5	93.3	▲ 0.8

その他費用は、事業費の消耗器具備品費が眠りスキャン購入等のため前年度比＋9,102,377 円増加した。利用者負担軽減は、利用者数減少のため▲6,982,055 円であった。減価償却費は、LED 更新工事等の影響を受け＋886,115 円となった。

令和6年度のサービス活動収益は 812,197,449 円（前年度比▲30,279,633 円）、サービス活動費用は 870,335,823 円（前年度比＋24,907,854 円）となり、サービス活動増減差額は▲58,138,374 円（▲55,187,487 円）である。総収益は 822,007,131 円（前年度比▲29,808,636 円）、総費用は 882,544,398 円（前年度比＋26,187,943 円）となり、当期活動増減差額は▲60,537,267 円（前年度比▲55,996,579 円）であった。利益率は、▲7.5%（前年度比▲7%pt.）となった。

当期活動増減差額の推移

元年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
▲3011 万円	▲997 万円	▲722 万円	▲3933 万円	▲454 万円	▲6053 万円

東京都福祉局より、令和5年度の減免実績に対し、令和7年3月に無料低額利用事業について適合施設としての証明書の発行を受けた。

老人保健施設グリーン・ボイス拠点						
事業活動計算書（介護老人保健施設拠点）						
（自） 令和6年4月1日				（至） 令和7年3月31日		
				（単位：円）		
勘定科目				令和6年度決算	令和5年度決算	差
サービス活動増減の部	収益	介護保険事業収益		811,474,191	841,519,229	△ 30,045,038
		施設介護料収益		618,721,134	640,058,017	△ 21,336,883
		居宅介護料収益		173,534,879	175,544,804	△ 2,009,925
		地域密着型介護料収益		0	0	0
		居宅介護支援介護料収益		0	0	0
		その他の介護収益		19,218,178	25,916,408	△ 6,698,230
		保育事業収益（その他の事業）		0	0	0
		医療事業収益		723,258	957,853	△ 234,595
		入院診療収益		0	0	0
		室料差額収益等		0	0	0
		外来診療収益		0	0	0
		保健予防活動収益		723,258	957,853	△ 234,595
		受託検査・施設利用収益		0	0	0
		保険等査定減		0	0	0
		その他の収益		0	0	0
	サービス活動収益計(1)			812,197,449	842,477,082	△ 30,279,633
	費用	人件費		640,724,047	617,268,500	23,455,547
		事業費		123,222,862	116,972,574	6,250,288
		事務費		24,572,981	23,369,556	1,203,425
		利用者負担軽減額		42,566,775	49,548,830	△ 6,982,055
		減価償却費		55,398,864	54,512,749	886,115
		国庫補助金等特別積立金取崩額		△ 16,149,706	△ 16,244,240	94,534
		徴収不能額		0	0	0
		徴収不能引当金繰入		0	0	0
	サービス活動費用計(2)			870,335,823	845,427,969	24,907,854
	サービス活動増減差額(3)＝(1)－(2)			△ 58,138,374	△ 2,950,887	△ 55,187,487
サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益		0	0	0
		受取利息配当金収益		19,710	377	19,333
		その他のサービス活動外収益		5,921,551	6,118,308	△ 196,757
		サービス活動外収益計(4)		5,941,261	6,118,685	△ 177,424
	費用	支払利息		0	0	0
		その他のサービス活動外費用		3,607,590	3,134,846	472,744
		サービス活動外費用計(5)		3,607,590	3,134,846	472,744
サービス活動外増減差額(6)＝(4)－(5)			2,333,671	2,983,839	△ 650,168	
経常増減差額(7)＝(3)＋(6)			△ 55,804,703	32,952	△ 55,837,655	
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益		3,521,754	3,220,000	301,754
		固定資産売却益		0	0	0
		拠点区分間繰入金収益		0	0	0
		その他の特別収益		346,667	0	346,667
		特別収益計(8)		3,868,421	3,220,000	648,421
	費用	固定資産売却損・除却損		229,119	4	229,115
		国庫補助金等特別積立金積立額		3,521,754	3,220,000	301,754
		拠点区分間繰入金費用		4,850,112	4,573,636	276,476
		その他の特別費用		0	0	0
特別費用計(9)			8,600,985	7,793,640	807,345	
特別増減差額(10)＝(8)－(9)			△ 4,732,564	△ 4,573,640	△ 158,924	
当期活動増減差額合計(11)＝(7)＋(10)			△ 60,537,267	△ 4,540,688	△ 55,996,579	
前期繰越活動増減差額(12)			918,537,785	923,078,473	△ 4,540,688	
当期末繰越活動増減差額(13)＝(11)＋(12)			858,000,518	918,537,785	△ 60,537,267	
基本金取崩額(14)			0	0	0	
その他の積立金取崩額(15)			0	0	0	
その他の積立金積立額(16)			0	0	0	
次期繰越活動増減差額(17)＝(13)＋(14)＋(15)－(16)			858,000,518	918,537,785	△ 60,537,267	

4. 在宅サービス部門 令和6年度事業報告

(1) 東村山市南部地域包括支援センター

年 度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計/平均
作成件数	R6年度	298	295	294	299	286	293	288	290	298	295	292	283	3,511
	R5年度	269	276	274	282	285	284	287	292	293	293	293	292	3,420
	%	110.8%	106.9%	107.3%	106.0%	100.4%	103.2%	100.3%	99.3%	101.7%	100.7%	99.7%	96.9%	102.8%
委託件数	R6年度	130	128	120	122	122	124	131	136	127	135	132	139	1,546
	R5年度	153	153	156	148	148	151	146	146	146	146	145	136	1,774
	%	85.0%	83.7%	76.9%	82.4%	82.4%	82.1%	89.7%	93.2%	87.0%	92.5%	91.0%	102.2%	87.3%
合計	R6年度	428	423	414	421	408	417	419	426	435	430	424	422	5,067
	R5年度	422	429	430	430	433	435	433	438	439	439	438	428	5,194
	%	101.4%	98.6%	96.3%	97.9%	94.2%	95.9%	96.8%	97.3%	99.1%	97.9%	96.8%	98.6%	97.6%

人員数	令和6	令和5	増減
看護師・保健師	1	1	0
介護系職種	7.6	6.6	1
合計	8.6	7.6	1

東村山市からの委託費は、令和4年度から予算を申請して請求する形式になり、令和5年度からは、利益が出た場合予算の返金をするように変更された。

プラン数が前年度比2.4%減少したが、令和6年度報酬改定の影響もあり、収益は18,362,547円（前年度比+441,722円）となった。東村山市からの受託事業収益や東京都介護職員・介護支援専門員居住支援特別手当の補助金等を含めると、サービス活動収益は54,813,005円（前年度比+144,651円）であった。

人件費は、病院からの異動で常勤1名が増員、非常勤職員2名が退職し、前年度比+2,796,553円であった。人件費率は96.3%であり、令和5年度91.5%から上昇している。その他費用は大きな変化はなく、サービス活動費用は58,039,450円（前年度比+3,201,893円）となり、サービス活動増減差額は▲3,226,445円（前年度比▲3,057,242円）であった。臨時の人事異動があったため、東村山市の予算計上ができずにマイナスとなった（令和6年度予算は、令和4年度の実績をもとに令和5年度に申請する）。

総収益は54,900,497円、総費用は58,367,181円となり、当期活動増減差額は▲3,466,684円（前年度比▲3,071,971円）となった。利益率は、▲6.3%（令和元年度4.8%、令和2年度7.6%、令和3年度3.7%、令和4年度5.2%、令和5年度▲0.7%）である。

東村山市南部地域包括支援センター拠点					
事業活動計算書（地域包括支援センター）					
（自）令和6年4月1日（至）令和7年3月31日			（単位：円）		
勘定科目			令和6年度決算	令和5年度決算	差
サービス活動増減の部	収益	介護保険事業収益	54,813,005	54,668,354	144,651
		施設介護料収益			0
		居宅介護料収益			0
		地域密着型介護料収益	0	0	0
		居宅介護支援介護料収益	18,362,547	17,920,825	441,722
		その他の介護収益	36,450,458	36,747,529	△ 297,071
		サービス活動収益計(1)	54,813,005	54,668,354	144,651
	費用	人件費	52,826,099	50,029,546	2,796,553
		事業費	1,985,294	1,686,724	298,570
		事務費	3,118,257	2,892,186	226,071
		利用者負担軽減額	0	0	0
		減価償却費	109,800	229,101	△ 119,301
		国庫補助金等特別積立金取崩額	0	0	0
		徴収不能額	0	0	0
		徴収不能引当金繰入	0	0	0
		サービス活動費用計(2)	58,039,450	54,837,557	3,201,893
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		△ 3,226,445	△ 169,203	△ 3,057,242
サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益	0	0	0
		受取利息配当金収益	0	0	0
		その他のサービス活動外収益	87,492	77,801	9,691
		サービス活動外収益計(4)	87,492	77,801	9,691
	費用	支払利息	0	0	0
		その他のサービス活動外費用	0	2,840	△ 2,840
		サービス活動外費用計(5)	0	2,840	△ 2,840
		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	87,492	74,961	12,531
経常増減差額(7)=(3)+(6)		△ 3,138,953	△ 94,242	△ 3,044,711	
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	0	0	0
		固定資産売却益	0	0	0
		拠点区分間繰入金収益	0	0	0
		その他の特別収益	0	0	0
		特別収益計(8)	0	0	0
	費用	固定資産売却損・除却損	0	0	0
		拠点区分間繰入金費用	327,731	300,471	27,260
		その他の特別費用	0	0	0
		特別費用計(9)	327,731	300,471	27,260
特別増減差額(10)=(8)-(9)		△ 327,731	△ 300,471	△ 27,260	
当期活動増減差額合計(11)=(7)+(10)		△ 3,466,684	△ 394,713	△ 3,071,971	
前期繰越活動増減差額(12)		8,635,772	9,030,485	△ 394,713	
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		5,169,088	8,635,772	△ 3,466,684	
基本金取崩額(14)		0	0	0	
その他の積立金取崩額(15)		0	0	0	
その他の積立金積立額(16)		0	0	0	
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		5,169,088	8,635,772	△ 3,466,684	

(2) 緑風荘指定居宅介護支援事業所

年 度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計/平均	
件数	R6年度	159	154	159	161	161	159	159	153	149	146	145	147	1,852
	R5年度	150	149	146	157	153	151	154	153	153	153	156	157	1,832
	%	106.0%	103.4%	108.9%	102.5%	105.2%	105.3%	103.2%	100.0%	97.4%	95.4%	92.9%	93.6%	101.2%

人 員		令和6	令和5	増減
主任介護支援専門員		0	0	0
介護支援専門員		4	4	0
合 計		4	4	0

サービス活動収益は、プラン数の増加（前年度比＋1.2%）により、28,295,975 円（前年度比＋1,812,190 円）と増加した。収益には、東京都東京都介護職員・介護支援専門員居住支援特別手当等の補助金 681,000 円分も含まれる。

人件費は、人員に変化なく 23,746,261 円（前年度比▲47,190 円）とほぼ横ばいであり、人件費率は 83.9%（前年度 89.8%）であった。その他費用は大きな変化はなく、サービス活動費用は 25,034,559 円（前年度比▲25,045 円）となり、サービス活動増減差額は＋3,261,416 円（前年度比＋1,837,235 円）である。

総収益は 28,295,975 円、総費用は 25,203,017 円となり、当期活動増減差額は 3,092,958 円（前年度比＋1,813,307 円）となり 2 年連続黒字を維持した。利益率は 10.9%（令和元年度▲6.5%、令和 2 年度▲4.9%、令和 3 年度▲8.5%、令和 4 年度▲10.8%、令和 5 年度 4.8%）である。

緑風荘居宅介護支援事業所拠点						
事業活動計算書（居宅介護支援事業所）						
（自）令和6年4月1日（至）令和7年3月31日				（単位：円）		
勘定科目				令和6年度決算	令和5年度決算	差
サービス活動増減の部	収益	介護保険事業収益		28,295,975	26,483,785	1,812,190
		施設介護料収益				0
		居宅介護料収益				0
		地域密着型介護料収益				0
		居宅介護支援介護料収益		27,614,975	26,483,785	1,131,190
		その他の介護収益		681,000	0	681,000
		サービス活動収益計(1)		28,295,975	26,483,785	1,812,190
	費用	人件費		23,746,261	23,793,451	△ 47,190
		事業費		251,897	268,399	△ 16,502
		事務費		665,939	644,005	21,934
		利用者負担軽減額		0	0	0
		減価償却費		370,462	353,749	16,713
		国庫補助金等特別積立金取崩額		0	0	0
		徴収不能額		0	0	0
		徴収不能引当金繰入		0	0	0
サービス活動費用計(2)		25,034,559	25,059,604	△ 25,045		
サービス活動増減差額(3)=(1)－(2)		3,261,416	1,424,181	1,837,235		
サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益		0	0	0
		受取利息配当金収益		0	0	0
		その他のサービス活動外収益		0	0	0
		サービス活動外収益計(4)		0	0	0
	費用	支払利息		0	0	0
		その他のサービス活動外費用		0	0	0
		サービス活動外費用計(5)		0	0	0
		サービス活動外増減差額(6)=(4)－(5)		0	0	0
経常増減差額(7)=(3)＋(6)		3,261,416	1,424,181	1,837,235		
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益		0	0	0
		固定資産売却益		0	0	0
		拠点区分間繰入金収益		0	0	0
		その他の特別収益		0	0	0
		特別収益計(8)		0	0	0
	費用	固定資産売却損・除却損		0	0	0
		拠点区分間繰入金費用		168,458	144,530	23,928
		その他の特別費用		0	0	0
特別費用計(9)		168,458	144,530	23,928		
特別増減差額(10)=(8)－(9)		△ 168,458	△ 144,530	△ 23,928		
当期活動増減差額合計(11)=(7)＋(10)				3,092,958	1,279,651	1,813,307
前期繰越活動増減差額(12)				△ 12,862,474	△ 14,142,125	1,279,651
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)＋(12)				△ 9,769,516	△ 12,862,474	3,092,958
基本金取崩額(14)				0	0	0
その他の積立金取崩額(15)				0	0	0
その他の積立金積立額(16)				0	0	0
次期繰越活動増減差額(17)=(13)＋(14)＋(15)－(16)				△ 9,769,516	△ 12,862,474	3,092,958

結 論

厚生労働省は、医療構造改革を念頭において、少子・超高齢社会（人口減少社会）における医療・介護の新しい提供体制と財政的な運営方法を整備しようとしている。日本社会全体の社会保障という視点から医療・介護・福祉に対する全般的な検討が加えられており、今後も多くの議論が予想される。2025年問題の次は2040年問題があり、「地域医療構想」、「地域包括ケアシステム」、「地域共生社会」の構築が課題となる。新型コロナウイルス感染症流行後の社会の在り方、国際情勢の激変に対する対応も避けられない。

緑風荘病院は、平成22年度以降、病棟閉鎖、仮設工事、南病棟解体、入院機能の再編と大きな困難を克服しながら病院建替えと病院機能の再構築を行ってきた。これらの計画遂行によって病院の入院・外来における患者数動向に大きく影響され、結果として収支における負荷は多大なものであったが、病院の建替えによって、入院機能再編による各病棟の一日平均単価の増加と、稼働状況の向上により増収することができた。令和2年度から新型コロナウイルス感染症流行の影響で外来が大幅な減収となったが、令和3・4・5年度は苦境に耐えた感がある。緑風荘病院としては、令和6年度は診療報酬・介護報酬同時改定に加えて医局の再編も重なり、際立って厳しい経営結果となった。今後は、病棟運営の改善、透析事業の安定化、整形外科の手術件数増加、回復期リハビリテーション病棟の稼働安定等により、病院全体の稼働状況の向上に努めたい。緑風荘病院と老健グリーン・ボイスとの連携はもとより、地域の他の医療機関、介護施設とも連携を密にしながら稼働状況の改善を図りたい。

病院、老健施設も、この度の医療構造改革、特に高齢者に対する医療・介護についての政策の方向性を考えると厳しい経営環境は今後も続くであろう。しかし、病院、老健、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所が連携し、地域住民（特に高齢者の方々）にいろいろな面で複合的に関わり、国が目指す「地域包括ケア」の一端を担えれば、福祉・医療・介護を担う社会福祉法人として社会的使命を果たせるものと考えている。

今は国際情勢の激変による物価高騰等を乗り越えることに注力し、その後は緑風会全体の組織を固め、各部門間の協力・連携関係を強化し、制度改革の動向について情報を収集し、十分に研究し、積極的に地域社会に貢献していくものとする。